

年齢区分の追加について

社会生活基本調査で使用している年齢区分は、おもに5歳区分、10歳区分となっているところであるが、これらに加えて、近年、国際機関から求められている年齢区分に対応するため、次の区分を追加することとしたい。

1 追加する年齢区分

(1) 25～44歳

SDGs（持続可能な開発目標）の指標「5.4.1無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合（性別、年齢、場所別）」について求められている、年齢区分「25～44歳」に対応するため。

※現行では「25～34歳」「35～44歳」の結果数値を提出

(2) 15～64歳

OECDで世界各国の生活時間を取りまとめた「Time use across the world」では、年齢区分「15～64歳」が使用されており、これに対応するため。

2 対応案

上記の各年齢区分は、平成28年調査で使用した年齢区分の再掲項目に追加

平成28年調査		令和3年調査（案）
総数		総数
15～19歳		15～19歳
20～24歳		20～24歳
⋮		⋮
80～84歳		80～84歳
85歳以上 （再掲）		85歳以上 （再掲）
20歳以上		20歳以上
35歳以上		35歳以上
65歳以上		65歳以上
75歳以上		75歳以上
		<u>15～64歳</u>
		<u>25～44歳</u>